



C.P.I. Mates

NO.52

2001. 11. 10

THE COMMITTEE FOR PROMOTION TO INNOVATE JAPANESE PEOPLE BY EDUCATIONAL AND CULTURAL CONTACT

目 次

会員を増やそう！キャンペーン P 2

わかりやすく C.P.I.のことを話すには？

総会で決めた活動を前進させる
ボランティア募集



日本で E-MAIL での連絡をしながら本部を手伝う P 4

◎ IT を広げコミュニケーション向上させる P 5

◎ 地域での交流活動をフォローする P 5

◎ 本部の広報活動を助ける



スリランカで SLNECC を手伝う P 6

◎ 現地家庭衛生の啓蒙等への協力 P 7

◎ IT 技能実務教育開発等への協力



インドネシアで PPKIJ を手伝う P 8

◎ ボゴール：女性の創造性プログラムづくり

◎ スマラン：医療巡回へのボランティア

スリランカスタディツアー募集

2002年 奨学生認証式への参加など P 8~11
(実施会場ごとに日程をつけてあります)

申し込み：本誌 P 11 にあります。

わかりやすく C.P.I.のことを話すには？



C男：テロでなんだか怖いことになってるねえ。自分のことばかり考えて生きていいいんかなあって思うよなあ。

P子：なるようになると思ってただけど……日本このままで大丈夫？

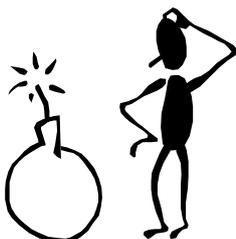
I子は、なにか、ほかの国へのボランティアをしているよね。

I子：自立した平和で幸せな社会づくりっていう国際協力のことね。うん。

P子：なにそれ？ 宗教団体みたいなことじゃないの。

I子：えーとね、自分の生活を自分で決められる、平和で幸せな社会づくりっていうことですよ。ほら、テロリストに炭疽菌なんかまかれたら、生活は自分で決められなくなるんだから。例がきついか？

C男：自分の責任じゃないのに社会的に差別を受けたり、食べられないんじゃ、たまらないものなあ。



P子：そうかあ。なるようになれじゃ、絶望しちゃうって人がいるんだ。

C男：絶望ばかりの生活だと、「こんな生活は、あいつらが贅沢ばかりしているせいで」なんていうテロの親分の話でワーってなるかもな。

P子：わたしだって、ときどきワーってなるときあるよ。

C男：そりゃ、P子はブランドバッグ買えない、ワーって次元だろが？

P子：そか。子どもが病気で薬を買うお金がないってのはなしじゃないもんね。あ〜、なんでこんなむずかしい話してるんかなあ。

I子：うん、だからさ、みんなで少しずつ手を貸しあって、そうじゃない社会をつくるのが大事だって話だよ。P子が言い出したんだよ。

P子：はい、アタシでした。ねえ、だけども、もらっちゃってラッキー！どうもね〜！なんていう人たちになにかあげてもキリないじゃん。

C男：「自助努力」っていうの？ そういう種を撒いてくれる人になってくれないとねえ。

I子：おおお、「いいこと」言うじゃないの。

C男：やるときはやるオイラだぜ。で…どういうふうに「いいこと」なの？

I子：わたしは、C.P.I.っていうところで教育里親になってるんだけどさ。

C男：独身なのに、早くもほかの国の子どものおかあさんなんだ。

I子：じゃあ、里お姉さんに変えるわ（笑）。えと、ちゃんと聞いててよ。中学生くらいまで、信じられないくらい貧しいのに、家族ぐるみで何とか頑張ってきた子どもで、学校の成績もいいし友だちからも慕われているっていう学生を選んで勉強を続けられるようにするの。

C男：おおお（笑）な〜るほど。それなら、希望がもてるかも。



I 子：やり方を決めるとき、子どもたちからも意見を聞くようにしてる。

P 子：面倒くさいじゃないの。お金あげればいいんじゃないの？

I 子：お金はあげない。学用品とか、学費を学校に渡すとかするの。

子ども自身が奨学制度についての希望を出して、それが実現するに必要なことを知らないと、責任ある奨学生として育たないからね。

C 男：サンタクロースも、お金はくれないもんね。

I 子：そうそう、だから、サンタに贈り物を頼む子どもも、それをどう使うかをサンタに言わなければならないんでしょ？ それと同じよ。

C 男：サンタクロースのことをちゃんと考える子どもかあ。ませた子じゃん。

I 子：ははは。でも、サンタにとってはいい子だよ。サンタも年とるから、新しいサンタがたくさん育ったほうがいいんだから。

P 子：う～ん。そっかあ、サンタかあ。なりたかったんだよ、わたし。

C 男 I 子：え～～～っ。うそ。

P 子：ほんとだって。ところでさ、どの国の子どもにしてるの？

I 子：セイロン島とジャワ島。

C 男：スリランカとインドネシアかあ。行ってみたいなあ。



I 子：自分の里子の家にも行けるんだよ。

P 子：ほんと？ わたし、やる！ でもいま、お金ないしな。

I 子：いまは、入会金3000円だけだよ。来年からの分は、12月に12000円納めて、あと3月と6月に、また12000円ずつでいいから、楽でしょ？

P 子：よし、いまから貯めればいいんだ。

わたしもなかなか、ちゃんとしてる女性じゃん。

C 男：は～い、オイラもやりま～す。ちゃんとした男性だから

I 子：じゃ、2人に入会申込書を送るように言うね。

それでいいかな？

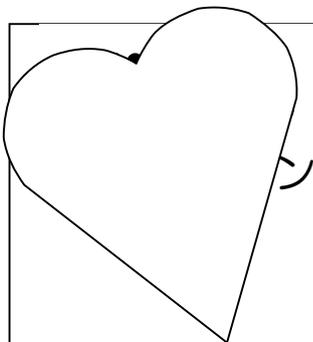
C 男 P 子：いいとも～～！（笑）



ご友人にお話ください。

11月10日以降にご入会される方は、

- ♪ 今期分は入会金 3000 円だけ。
- ♪ 里子との組み合わせはすぐできます。
- ♪ 来期分ご納入は12月25日に開始。
- ♪ 1回目は、12000円ですみます。
- ♪ 2回目は3月25日、3回目は6月25日。



ビジョン 21

教育里親活動は、もちろん会員すべてが、前に進めてくださる方々です。

そのほかの、総会で決まった活動を前進させるボランティアをして下さる人を求めます。

申し込み方法

- ◎ 全国どこの方でも、ご参加いただけます。
- ◎ こんごの連絡の都合上、E-MAIL アドレスをお持ちの方とします。
- ◎ 会員 NO.、御氏名、下記の「リボンマーク内の活動名」からご希望の活動をお寄せください。
- ◎ 本部の委員として委嘱しますので簡単に「抱負」をお寄せ下さい。
- ◎ 海外へのボランティアの場合、派遣費をプロジェクト予算で設定する都合上、希望者のなかから理事会で選考します。
- ◎ いずれの方も、お申し込みのあと、後日ご連絡申し上げます。

コミュニケーション向ト

日本国内	活動名	いまから2002年前半は、「メールのやり方をおぼえる教室」の推進。2002年後半からは、里子の様子の画像をネット配信する活動を進めていく予定です（1999年総会議決による）。
	委員会の種類	ネットワーク強化委員会
	受益者	本会の会員。
	方法	会員のためにメーリングリスト（ML）参加者を増やしたいところです。地域会あるいは地域会のないところでも、「メールのやり方をおぼえる教室」をして戴けませんか？「ボランティアの悩み」「スリランカやインドネシア料理のレシピ」「地域会の運営方法」「留学生とのこんなこと」「テロのことで思うこと」「有機紅茶が飲みたい」などなど、楽しく、ためになる会話が、たくさん語られていますよ。（ML管理者：埼玉の山田康正さんが担当して下さっています）
	留意点	IT設備のない会員へのフォローを考慮する必要がある。
	資金	社会福祉協議会や、社会教育センターのパソコンルームが無料に近い価格で借りられるようです。
	講師の費用	無料ボランティアでお願いします。

地域での交流活動をフォロー

日本国内	活動名	相互理解および経験交流を、会員やご家族、友人に広げる活動
	委員会の種類	組織委員会
	受益者	地域の参加者
	方法	C.P.I.本部あるいはC.P.I.地域会が主催する現地報告会、国内各地の国際協カフェスティバルおよびNGO合同セミナー等での交流・啓蒙を図るために、日頃からパネル準備、バザーの準備、「にぎわかし物品」の準備、ワークショップの準備、料理会のマニュアル整備などが必要です。 もっと本部として上手く地域会の活動をフォローしたいと考えています。
	留意点	持ち回りで使う説明パネルを作りなおし、地域会がないところでも簡単に開催できるようにする必要があります。
	資金	お知らせ経費は、本部から補助します。催事に係る実費は地域会独自の募金収入により賄っていただきます。 地域会のないところでは、催事費用を別途考えたいと思います。

本部の広報活動を助ける

日本国内	活動名	本会の活動または共有すべき情報に関わる報告の制作・普及
	委員会の種類	広報報告委員会
	受益者	本会の会員および一般
	方法	本部会報 C.P.I.MATES およびC.P.I.地域会への情報サービスを目指します。以前に会報に掲載しましたような、「卒業里子のその後」のような、現地への情報収集を依頼し、ボランティアを募集する、といった活動も含まれます。
	留意点	報告すべき事項を、綿密に検討する必要がありますし、海外出張をする場合も出てくると思います。
	資金	一般会計および公的補助金。外務省からも、このような活動への補助金が出るようになりました。
	海外出張経費	航空券、滞在費を支給できるようしたいと考えています。

ここからは、スリランカ、インドネシアの協力団体との、教育開発に係る協力活動へのボランティア募集です。

今回の募集は、現時点で実現可能性の高いものだけと致します。

現地家庭衛生の啓蒙等への協力

スリランカ	活動名	現地での保健衛生に係る教育開発等への助言および協力活動
	委員会の種類	特別委員会として、「保健衛生に係る教育開発等委員会」（仮）を立ち上げることになります。
	地域	2002年度中頃にスリランカ政府地域コーディネーターと保健省の協議で決定するパイロットプロジェクト40地区。
	方法	<p>C.P.I.—SNECCで実施ユニットを形成し、SLNECC地区センターに巡回医療診断車の配備を行いパイロットプロジェクトを実施する地区に実施委員会を組織し、保健教育・健康診断の活動を行うことに協力する。</p> <p>具体的な活動は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ♪ 使用する巡回診断車の選定・交渉・手配、 ♪ 積載する備品の選定・交渉・手配、 ♪ マニラのアジア開発銀行とのやりとり（責任者は日本人ですが、英語でのやりとりになります。ご了解済み）、 ♪ ワシントンのUNICEF本部とのやりとり（事務局長の顧問は日本人です。協力をご了解済みです）、 ♪ 開始のあと、同行して効果を調査します。
	留意点	近隣都市の排泄物および森林伐採による生活用水の枯渇に留意し必要に応じて政策提言できるよう、広く現地政府との連携をしていく必要があると考えています。すでに、政府筋とは、その方面の話し合いを開始しています。
	資金	<p>事前準備は、本会の協力事業費および海外派遣費として承認された予算の範囲内で行っています。</p> <p>本事業開始後はアジア開発銀行の「JAPAN FUND FOR POVERTY REDUCTION」で賄う予定です。</p>
	日本側協力者	C.P.I.会長がユニット担当として参画しています。今後、この特別委員会ボランティアおよびインターンの参加を望みます。
	海外参画者	この事業に賛同する医師・看護婦・教育里子卒業者・教師および、受益地区のボランティア委員会メンバー。

スリランカ	活動名	IT教育開発とその活用への助言および協力活動
	委員会の種類	ネットワーク強化委員会
	地域	首都、カルタラ、キャンディ、ヌワラエリヤ、マタラ等を予定
	方法	すでにお知らせしているとおり、SLNECC本部に 教育里子の卒業者を対象としたコンピューター技能教育開発を、1999年から開始しています。いままでに120名が修了し、政府から資格証明書を受け取りました。 現地本部には、別の室を使用してスペースを広げ、地区センターの実務教育スペースに同室を設置して受益者を地方に広げようとの構想があります。 C.P.I.本部では、SLNECCの要望により、メーカー払い下げの中古コンピューターを探していましたが、遂に成功しました。 これからは、送り出しチェック、発送、現地での設置手伝いなどを楽しんでして頂ける段階にあります。 今後、里子たちとの ITネットワークの要ともなっていくます。
	留意点	現在SLNECCで行っている研修者選考を継承し、スリランカ政府の「高等IT技能資格」を引き続き取得できるようにする。
	資金	事前準備は、事業推進支出の予算範囲で賄ってきました。本事業開始後は、C.P.I.の協力で日本から 中古機材100台の機材等の設備資金を SLNECC側の財産運用の工夫で賄います
	日本側協力者	専務者、本事業ボランティアで行います。
	海外参画者	SLNECC本部職員および地区センターの教育里子卒業者が、活動内容・活動方法の決定過程および実施に参画します。

インドネシア では

スマラン地区センターの教育里子卒業者たちが、自分たちでお医者さん看護婦さんの協力和方政府の補助を受けて、保健啓蒙・診断巡回をはじめめています。同じくボゴール地区センターは、女性の創造プログラムを1999年からはじめています。このような試みはまだ

「テストケース」の活動ですので、会としての本格的な協力活動には上げられませんが、このような活動に協力しようという方ご相談ください。なお、インドネシアでは、JICA などとの連携活動を協議していますが、まだ実現可能性がとりきれませんので、今回は呼びかけません。

スリランカ 2002 年奨学生認証式への スタディツアー希望者募集

《ページ11》の募集用紙でお申し込みください。また、ご自分の里子の地域がご不明のときはお問い合わせください。お申し込みにしたがって、詳細スケジュールを決めます。

認証式のある日 (ツアー日程)	式の開始	認証式の会場	会場に集まる里子の地域	
2002年1月5日 (1月3日～1月10日)	午後 2.00	Kotte	(01)Kotte (15)Gampaha (26)Panadura (47)Delgoda (51)Madampe (59)Negambo (74)Mundalama (27)Horana (76)Thebuwana (77)Baduraliya	(02) Udagama (19) Bellanwila (46)Deraniyagal (47)Delgoda (48) Attanagalla (58) Pugoda (62) Welisara (89) Malabe (28)Kaluthara
2002年1月6日 (1月3日～1月10日)	午前 9.30	Dambulla	(06)Polonaruwa (50)Kurunegala (54)Galewela (55)Hingurakgodā	(13)Kekirawa (53)Dambulla (56)Kanthale
2002年1月6日 (1月3日～1月10日)	午前 9.30	Anuradhapra	(14)Anuradapura (86)Eppawala (64)Tanthirimale (87)Wanatwiluwa	(52)Puttalama (63)Wauniyawa (66)Padawiya (68)Mannarama
2002年1月7日 (1月3日～1月10日)	午後 2.00	Horopathana	(42)Horopathana (67)Batticaloa (88)Kahatagas- digiliya	(65)Trinkomale (69)Seruwawila
2002年1月12日 (1月10日～1月17日)	午前 9.30	Kandy	(21)Kandy (43)Akurana (49)Kegalla (82)Hanguranketha)	(22)Ambathena (44)Gampola

認証式のある日 (ツアー日程)	式の開始	認証式の会場	会場に集まる里子の地域
2002年1月12日 (1月10～1月17日)	午後2.00	Nuwara Eliya	(23) NuwaraEliya (39)Bandarawela (17)Kotmale (45)Hatton (40)Badulla (85)Keppetipola (83)Walapane
2002年1月13日 (1月10～1月17日)	午後2.00	Monaragala	(35)Katharagama (09)Monaragala (38)Wellawaya (41)Ampara (61)Koslanda (72)Inginiyagal (84)Passara
2002年1月18日 (1月17～1月24日)	午前9.30	Rathnapura	(07)Panapola (08)Pallebedda (12)Demuwatha (18)Rathnapura (29)Ayagama (37)Balangoda (36)Suriyawewa
2002年1月19日 (1月17～1月24日)	午後2.00	Elpitiya	(03)Meegahatena (04)Elpitiya (05)Pitigala (10)Aluthgama (11)Mathugama (30)Ittepana (24)Mapalagama (31)Ahungalla (57)Hiniduma (60)Kahaduwa (78)Baddegama (79)Neluwa
2002年1月26日 (1月24～1月31日)	午前9.30	Mathara	(16)Galle (32)Akuressa (20)Ambalantota (34)Thangalla (33)Mathara (80)Beliatta (81)Kamburpitiya

スリランカ スタディツアー申込書

日程について ページ9～10で掲示してあります。
お申し込みに従い、詳細をつめていきます。

申し込み期限 11月30日までをお願いします。

ツアー目的 奨学生認証式に出席し、里子たちを励まし地域の様子を観てください。

事前ガイダンス お申し込み締め切りのあと、12月の第2土曜日に行く予定です。
遠方の方には、文書で日程詳細をお送りします。

下記を、FAX または E-MAIL でお送りください。

FAX 送り先：0422-49-3808

MAIL 送り先：cpi_mate@muh.biglobe.ne.jp

C.P.I.会員 NO. _____

ご氏名（漢字とパスポート表記） _____ （男 女）

ご同行者 _____

ご氏名（漢字とパスポート表記） _____ （男 女）

ご氏名（漢字とパスポート表記） _____ （男 女）

ご氏名（漢字とパスポート表記） _____ （男 女）

ご氏名（漢字とパスポート表記） _____ （男 女）

事務局から

1. 次回 12 月の C.P.I.MATES No.53 の特集は、C.P.I.地域会秋の催事の様子をお知らせします。
2. 10 月 30 日付けで、インドネシア教育里子の 2000 年 8 月～2001 年 7 月期の報告および、2001 年 8 月～2002 年 7 月に受け持っていた教育里子の学校・家庭状況を報告しました。
3. 11 月 30 日付けで、スリランカ教育里子の 2001 年 1 月～2001 年 12 月期の報告を致します。
4. 12 月中旬、2002 年度の会費・教育支援金のご納入依頼を致します。
一括ご納入がむずかしい方は、お早めに分割納入のお申し出をお願い申し上げます。
その場合、12 月、3 月、6 月で、銀行からの自動振り替えをお願いしておりますので、そのための手続き用紙を、お送り申し上げます。

以上、ご了解をよろしくお願い致します。